



大月列車衝突事故から 27 年

BREAKING
NEWS

知識・技能不足が事故原因の一つ

事故の教訓は活かされているのか。

1997 年(平成 8 年)10 月 12 日(日)20 時 2 分に発生した大月駅列車衝突事故から 27 年が経ちました。

この事故は、大月駅の中線に到着後、分割作業を行い下り本線へ引き上げる際、下り本線の出発信号機を自列車の信号だと思い込んで入換を開始。下り本線を通じた特急列車と衝突し、車両が脱線、横転しました。

事故原因の一つには「知識・技量不足による作業誤り」があったことから、事故後には、研修や教育、フォローの実施などの経験に応じて各個人にも見合った対策が取られるようになりました。



各職場で点検を！今、職場では事故を教訓とした対策が実行されていますか？

- ✓ 現場の実情に即した教育や訓練は適切に行われていますか。
- ✓ 業務で不安やわからないことがあった際、聞くことができる労働環境にありますか。
- ✓ 職場のフォロー体制は充実していますか。

業務に必要な教育、訓練は会社の責任で実施されるべきものだ！

職場から安全文化を醸成し、安心して働ける労働環境と職場風土をつくり出そう！